

脱炭素社会に向けたカーボンナノチューブの開発と応用 ～発見30周年記念シンポジウム～

カーボンナノチューブは発見以来、世界中で最も注目されている材料の一つであり、近年はエネルギー材料としての期待も大きい。本シンポジウムでは、その興味深い物性に加え、近年の研究開発状況や実用化の進展について、第一線で研究開発を展開されている気鋭の方々にご講演いただく。さらに、脱炭素社会実現に向け、今後の研究開発のための議論の場とする。

【日時】 2021年9月12日（日） 13：30－18：30

【場所】 名城大学天白キャンパス
(オンライン併用ハイブリッド開催)

招待講演者

- | | |
|--------------------|---------------------------------|
| 飯島澄男（名城大） | 「脱炭素社会におけるカーボンナノチューブへの期待」 |
| 野田 優（早稲田大） | 「カーボンナノチューブ合成技術の進展とエネルギー技術への応用」 |
| 片浦弘道（産総研） | 「脱炭素社会を目指したカーボンナノチューブの構造分離技術」 |
| 泉田 涉（東北大） | 「トポロジカル物質としてのカーボンナノチューブ」 |
| 柳 和宏（東京都立大） | 「カーボンナノチューブの次元性と熱電物性」 |
| 畠 賢治（産総研） | 「深層学習を利用したカーボンナノチューブ膜の特性予測」 |
| 齋藤直人（信州大） | 「カーボンナノチューブ複合体の生体材料への応用」 |
| 橋本 剛
(名城ナノカーボン) | 「脱炭素社会を見据えたカーボンナノチューブ実用化の現状」 |



企画 大分類17 ナノカーボン
世話人 丸山隆浩（名城大），守谷頼（東京大）

